

この度、たくさんの先生方の偉大なサポートにより、学校推薦型選抜で大阪公立大学に合格させていただきました。以下に関しては、特に一類生で、部活と両立して国公立受験を考えている人の参考になれば幸いです。

・日々の過ごし方

僕は当時弦楽部に所属しており、引退の時期が三年生の9月と、受験生にしては遅かったため、その差を埋めようとするのを一年生の頃から徹底しました。例えば、部活の長い休憩時間や、待ち時間があって暇なときは、何かしら参考書を見るなどです。また、一類の授業と定期テストは基礎基本がほぼメインなので、しっかり授業を聞いて、満点を取る気持ちで勉強していました。そのおかげで、入試の時期になっても基礎がしっかり安定していたため、共通テストの点数が伸びやすかったです。後は、毎日の起きる時間と寝る時間を固定して崩さないことです。体内時計を安定させることで、勉強に身が入らないことが格段に減りました。

・学習の進め方

正直、一類生は学校の授業だけで国公立大に合格することはとても難しいです。そのため、自分で参考書を用意して、授業プラス α の学習を進めていかなくてはなりません。その際、先生方は親身にサポートしてください。特に、国公立の二次試験や、内容が重い英語と数学に関しては、国公立大の受験を決めてすぐに、今何をすべきかを先生に質問に行くことを強くおすすめします。そして、そこで得た学力を模試で試みましょう。ちなみに、僕は先生を頼る時期が三年生と遅く、後悔する毎日でした。部活をしていると、尚更時間は限られてきます。どんなことでもいいので、全て早めに行動することを心がけてください。遅すぎることはあっても、早すぎることはありません。

・メンタル面

当時、日々の部活がコンクール、度重なる演奏会、おちばがえりひのきしんと多忙で、その中で勉強を進めていく毎日は想像以上に苦痛を伴うものでした。辛いときは、オープンキャンパスで撮った大学の写真を見たり、自分の志望大学を更に調べたりして、モチベーションを維持していました。あとこれは独特かもしれませんが、僕は合格した自分よりも、不合格になって落ち込んでいる自分を日々想像していました。なんでもいいので、どんな時でも勉強を始められるトリガーになるものを何個か用意しておくのがいいと思います。

・最後に

受験は「最後の一秒まで諦めない人」が勝つと思います。僕は共通テスト本番は、いつもの手応えが全く無く、絶望しながら問題を解いていましたが、絶対に最後まで問題を解き続けることを守りました。そして自己採点をするとうまさかの過去最高点が出ました。このように、受験は本当に最後まで何が起こるか分かりません。自分の努力を信じられるのは、自分自身だけです。模試の結果で落ち込むこと

もきっとたくさんあると思いますが、自分の弱点を知れるチャンスだと思って決して諦めず、すぐに復習しましょう。

また、受験は多くの方の支えがあってできるものです。辛いときは神殿に足を運んだりして、いつも見守ってくださっていることの感謝を伝えましょう。

受験の経験は、必ず今後の人生に生きてきます。皆さんの活躍を応援しています！